第 I 部 溶接界の動き

4 国際的動向

International Activities

村 川 英 一*

by MURAKAWA Eiichi*

キーワード：IIW, AWF

4.1 IIW年次大会および地域会議

- 1) 2009 IIW 年次大会 (第62回) は 7 月 12 日 (日)～17 日 (金), シンガポールにて開催され, 48カ国 566 名, 日本からは 81 名 (除同伴者), が参加した。
- 2) 開会式は 12 日 (日) 18:00～19:30 に行われ, Chee-Pheng Ang 組織委員長, Zainudin Nordin シンガポール市長, Ulrich Dilthey IIW 会長の挨拶があった。
- 3) 続いて各賞が次のとおり授与された。グランジョン賞 (若手研究者): カテゴリー A: S. T. A. Filho (独), B: E. M. Westin (スウェーデン), C: I. Weich (独), D: 該当無し, 荒田吉明賞 (基礎研究への貢献): J. C. Lippold (米), ウォルター・エドストレム賞 (IIW 運営・活動への顕著な貢献): C. Smallbone (オーストラリア), アーサー・スミス賞 (委員会活動への貢献): B. de Meester (ベルギー), トーマス賞 (国際規格制定への貢献): D. Widgery (英), パトン賞 (先端技術の研究・開発への応用): S. Y. Lin (中国), ハインツ・ゾッセンハイマー賞 (ソフトウエア開発・改良への貢献): Y. P. Yang (米)
- 4) 公開研究集会 (International Conference) (第29回) は「Advances in Welding and Allied Technologies」のテーマで 16 日および 17 日の両日開催された。牛尾誠夫大阪大学名誉教授によるポルトヴァン記念講演「Development of Gas-Shielded Arc Processes in Automatic Welding」を含む一般公募も含めて 17 セッション (94 件, 内日本 6 件) およびポスターセッション (41 件, 内日本 1 件) 計 135 件の講演が行われた。論文集は WIW (Welding in the World) 別冊として出版され, 大会後も有料にて入手可。
- 5) 会期中, 理事会 (Board of Directors), 総会 (General Assembly), 15 の常設の技術委員会 (Technical Commission), 技術委員会間の合同委員会およびセミナー, 技術者認証関連の 3 委員会, 4 つの特別委員会 (4 Select Committees, 航空機, 自動車, 船, 品質) およびスタディーグループ, 会長諮問委員会 (Technical Management Board), 3 つの理事会ワーキンググループ (コミュニケーションとマー

ケティング, 地域会議, 標準化) の会合および産業見学 (4 件) 等の関連活動が行われた。大会期間中, 支援企業等 (26) の団体名とロゴマークがプログラム等に掲載され, 関連機器・材料等が展示された。

- 6) 今後の年次大会および公開研究集会のテーマは次の通り。

2010 年 7 月 11 日～17 日: トルコ “Advances in Welding Science & Technology for Construction”, 2011 年 7 月 17 日～23 日: チェンナイ (インド), 2012 年 7 月 15 日～21 日: デンバー (米) “Welding development in power generation & maintenance”, 2013 年 9 月 12 日～17 日: エッセン (独), 2014 年 7 月 13 日～18 日: 済州島 (韓国)

- 7) 地域会議 (Regional Congress)

2009 年 10 月 14 日～16 日, High Tatras (スロバキア) で開催された会議に日本から 2 名参加した。今後の開催予定は次のとおり。2010 年 11 月または 12 月: ヴェトナム, 2011 年 10 月 11 日～13 日: イスタンブール (トルコ), 2011 年 11 月または 12 月: インドネシア, 2012 年 8 月: フィンランド

- 8) IIW 中間会議

2010 年 1 月 21, 22 日にパリで開催された中間会議には学会から 2 名参加し, チェアマン会議, TMB 会議などに出席した。会議では, IIW ジャーナルの “Welding in the World” が学会誌として Thomson Reuters に 2010 年 4 月から登録され, SCI とともに Impact Factor が付くことが報告された。

4.2 AWF (アジア溶接連盟) の活動および総会等

IIW の年次大会と同じ会場で AWF の第 12 回会議が 7 月 13 日に開催され 10 ヶ国から 50 名が参加した。また, AWF シンポジウムには日本からグローバルネットワーク委員会の 3 名が参加し 3 件の講演を行なった。

4.3 第 5 回日本・韓国若手溶接研究者合同シンポジウム

The 5th KWJS-JWS Joint Symposium of Young Researchers が, 韓国溶接学会秋季全国大会に合わせて済州島で開催され (11 月 26 日, 参加者 40 名), 日本からは 5 名が参加した。

4.4 日中韓溶接学会の連携

東アジア地域の主要国である日本, 中国, 韓国における溶接学会の連携推進を目的として, 3 国ジョイントセミナーを共同開催する事が 3 溶接学会の理事会で承認された。セミナーは毎年開催され, 主催は輪番で 2011 年に第 1 回が開催される予定である。

原稿受付 平成 22 年 5 月 24 日

*正 員 大阪大学接合科学研究所 Member, Joining and Welding Research Institute, Osaka University